

働くことの楽しさ・喜びとは
—— 一生勉強、一生青春 ——



2021年2月4日(木)

13:35～14:35

開倫塾

塾長 林 明夫

(栃木県経済同友会、会員)

*お読みになりやすいように、QandA の形で資料を作りました。授業後にもご活用ください。

Q : 働くとは、仕事をするとは、どういうことですか。

A : (1)すべての仕事には、「お客様」がいます。



(2)①仕事とは、「お客様の問題を解決」し、
「お客様のお役に立つこと」です。

②世の中(社会)には、同じような問題を抱えるお客様がいます。

③仕事とは、「世の中(社会)にいる同じような問題を抱える
お客様のお役に立つこと」、つまり、「世の中(社会)のお役に立つこと」です。

(3)①まとめていうと、「仕事とは、お客様のお役に立つこと、
世の中(社会)のお役に立つこと」。

②ですから、「仕事の喜び」とは、「お客様のお役に立つこと、
世の中(社会)のお役に立つこと」。

③この仕事の「お客様」はだれか、何を提供してどのように
お役に立っているのかを考えてみましょう。



Q : なぜ、人は働くのですか、仕事をするのですか。

A : (1)「生活できるだけの収入を得る」ため。

(2)「お客様や、世の中(社会)のお役に立つ」ため。

(3)「仕事をするすることで、自己実現をする」ため。



Q : 働くこと、仕事の厳しさとは、何ですか。

A : (1)世の中が急激に変化し続けるので、お客様が必要とするこ
とがどんどん変化し続けることです。変化に合わせて、仕事
の仕方や、提供するものを変化させ続けることです。



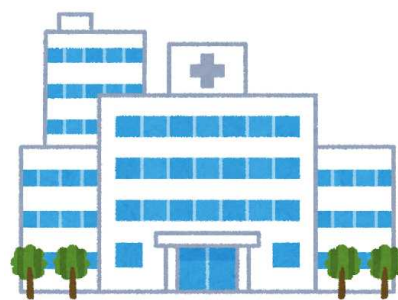
(2)特に、昨年の2月からの新型コロナウイルス感染拡大は、仕事
の仕方や、提供するものに大きな変化をもたらしています。

(3)競争相手が、日本国内だけではなく、世界中から現れ、厳しい
競争に勝ち抜かなければならないことです。



Q：仕事をするうえで、目標を持つことは大切なのですか。

A：(1)①仕事をする場所が、個人でも、企業でも、国や自治体(都道府県や市町村)でも、病院や介護施設などの非営利法人でも、何のためにその仕事をするのかという「社会的使命(ミッション)」があります。仕事をするうえでの目標は、「社会的使命(ミッション)」を実現することですので、とても大切です。



②「目標」がなければ、何をすればよいかかわからなくなるからです。

③「目的地」を決めないで舟を出すのと同じで、難破してしまいます。



(2)①企業や組織、チーム全体として「目標」を持つことが大切なのと同じように、メンバーの一人一人が個人的な「目標」を持つことも、もちろん必要です。

②よくできないことがあれば、具体的な「目標」を立て、よく勉強したり練習したりして、できるようにする。

③「練習は不可能を可能にする」という教えがあります。仕事にも当てはまります。



(3)①このように、仕事をするうえでの「目標」には、チームとしての目標と、メンバーとしての目標があります。

②これをどのように達成するか、みんなで考えていくことが大切です。

③何だか、部活動・クラブ活動と似ていると思いませんか。



Q：チャレンジすることの素晴らしさをお話ください。

A：(1)①仕事の大半は、今まで行ってきたことを、確実にやり続けることで成り立ちます。

②もし、今まで行ってきたことがよくできていなければ、「目標」を立て、少しずつでも、「きちんとした仕事」ができるように勉強し、「練習」をし続ける。

③これも素晴らしい「チャレンジ」です。どんどんスキルアップをし、完全な仕事ができるように「チャレンジ」し続けましょう。



(2)①仕事のうえでの「チャレンジ」には、もう一つあります。

②それは、「様々なものを組み合わせて」、今までになかったような「仕事の仕方を考え、実行し、世の中に広めること」です。

③今までになかったような「製品やサービスを考え、お客様に提供すること」です。これを、「イノベーション」といいます。



(3)①皆さんが大好きな「スマホ」や「タブレット」は、いつごろ作られたのでしょうか。

②アップル社のスマホ、iPhoneは2007年に、タブレットのiPadは2010年にできました。

③皆さんがスマホを持つようになったのは2015年ごろからです。今では、だれでも持っています。



＜ちょっと一休み＞

(1)アップル社の創業者、スティーブ・ジョブズさんの伝記を読むと、「チャレンジ」「イノベーション」とは何かがよくわかります。

(2)このように、10年前まではなかったものが、今ではだれでもごく普通に使うようになることを「イノベーション」といいます。世の中は、挑戦、「チャレンジ」、「イノベーション」で劇的に変化します。

(3)世界中の製薬会社が行っている、多くの人々の健康を願っての新型コロナウイルス感染対策用の「ワクチン製造」も「チャレンジ」です。

*皆さんは、どのような「チャレンジ」を試してみたいですか。



Q：これからの社会で求められる人材とは何ですか。

A：(1)①明るく、楽しく、元気な人。前向きな人。困難な問題に、積極果敢に挑戦する人。

②自分以外の他人のよさを素直な心で認め、評価し、励まし合うことのできる人。

(2)読解力を身に着けた人。

①辞書(よくわからない言葉があったら「気持ちが悪い」と思い、辞書で調べましょう)

②新聞(中学生は、新聞を毎日読みましょう)

③読書(各教科の教科書で紹介されている本を、どんどん読みましょう。本は最後まで読みましょう。本は何回も読みましょう)

*学校図書館、公共図書館、大学図書館を使いこなせる人。



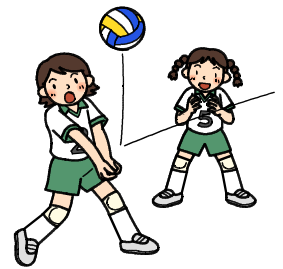
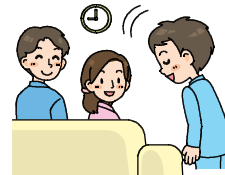
(3) 「5 S(ゴエス)」を身に着けている人。

- ①「整理」(seiri) 不要なものは処分する
- ②「清掃」(seisou) きれいに掃除する
- ③「整頓」(seiton) ものと同じところに置く
- ④「清潔」(seiketsu) ①～③を継続する
- ⑤「躰」(shituke) 自分から進んで行く



「<もう一つの「躰(しつけ)」も大切>

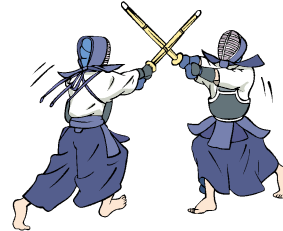
- (1)美しい立ち居振舞い(たちいふるまい)
- (2)美しい言葉遣い(ことばづかい)
- (3)元気なあいさつ(あいさつは、こちらからする)



Q：最後に一言どうぞ。

A：(1)慶應義塾大学の学長を務めた小泉信三先生の「スポーツの3つの宝」という教えです。

- ①「練習は不可能を可能にする」
- ②「フェアプレイ」
- ③「よき友」



(2)学校の勉強や活動は全部役に立ちます。

①学校の勉強は役に立ちます。高校でも、大学でも、社会に出て仕事や社会的活動をするときにも役に立ちます。就職試験や公務員の採用試験にも役に立ちます。充実した人生を送るために一生役に立ちます。



②ですから、学校の教科書や辞書、地図帳などは絶対に処分しないこと。折に触れ、学校の教科書や辞書、地図帳を取り出して学び続けましょう。

*地名が出たら、地図帳で確かめることをお奨めします。

③「学び方を学ぶ」(勉強の仕方を工夫しよう)

*仕事はメモで身に着ける。ノートの取り方、整理の仕方を身に着けよう。



(3)「一生勉強、一生青春」(相田みつを先生)

ご清聴を感謝いたします。ありがとうございました。

ご質問・ご意見があればご自由にご発言ください。よろしく願いいたします。